

ソニー・太陽株式会社 インクルージョン・ワークショップ



開催日 : 2017年7月28日 開催地 : ソニー・太陽株式会社

主催 : ソニー・太陽株式会社 / 後援 : 公益財団法人ソニー教育財団

参加者 : 川崎小学校 22名、日出支援学校 10名

指導員 : ソニー・太陽株式会社 3名

日出総合高校 17名、大分工業高校 1名 ※ボランティアスタッフ

ソニー・太陽は、全社員の約 70 パーセントを障がいのある社員が占めるソニーの特例子会社でソニー圏では国内におけるマイクロホン基幹工場です。インクルージョン・ワークショップとは、障がいのあるなしに関係なく、ダイバーシティ&インクルージョン（一人ひとりの違いを個性として尊重し、お互いを許容する事で、新しいものを生み出す力にすること）を体験することにより、相互理解を深め、またソニー・サイエンスプログラムの主旨でもある科学を学び、論理性、好奇心、創造力を育むことにもつながるソニー・太陽の特色を生かしたプログラムです。今回はペットボトルと牛乳パックで作るヘッドホンに挑戦して頂きました。

1. オリエンテーション

世界でひとつ、自分だけの
ヘッドホンをつくります！

音が出るしくみ、
音が伝わるしくみを学びます！

出合いを大切に！



ソニー・太陽株式会社

- 設立：1978年（ソニー株式会社特許子会社）
※ソニー㈱と社会福祉法人太陽の家との共同出資会社
- 社員数：約180名（うち障がい社員約120名）
※製造系、事務系に限らず全ての部署で障がい社員が活躍



保護より働く機会を

健丈者より優れたものを



太陽の家創設者
兼 中村 裕 博士

世に身心障がい者はあつても
仕事に障害はありえない



ソニー
ファウンダー
兼 井原 大

障がい者だからという
特殊なしの厳しさで

ソニー・サイエンスプログラムについて



社会貢献活動の原点は、創業者の「志」に

「子どもたちの夢の実現に貢献したい。
次の世代のために。」

ソニーファウンダー
井原 大

この志のもと、ソニーは50年以上に渡り社会貢献活動を続けています。



1959年には、小学校の
理科教育を支援する事業を開始。

財団法人科学教育振興会 設立
(1959年4月)



未来を生きる子どもたちへ、
科学のチカラを。



グループごとに自己紹介、ソニー・太陽、ソニー・サイエンスプログラム、
インクルージョン・ワークショップの説明など。

ソニー・太陽で作っている代表的な製品



C-38B



C-800G



MDR-CD900ST



MDR-Z1R

2. ヘッドホンの製作

●材料を確認しよう！

●ペットボトル 2本分

●牛乳パック(1L) 2本分



<キットに入っているもの>

- ① 輪ゴム
- ② オーディオケーブル
- ③ ホルマル線 2個
- ④ ネオジム磁石 2個
- ⑤ グッションテープ 2本

ペットボトル切抜き用
丸型紙シール



ヘッドバンド
型紙シール



たったこれだけの部品でヘッドホンができます！

ペットボトル切り



第1の難所のペットボトル切りです。
小学生にはちょっと固いかな？

ネオジム磁石の取り付け



ネオジム磁石はとっても強力な磁石なので
取扱いには注意してね！

クッションテープの貼り付け



ヘッドホンの耳当て部の組立です。

ホルマル線巻き



ホルマル線巻きは第2の難所
みんな真剣です！

座学（音ってなんだろう？）



今まで作った耳当て部分の原理を勉強します。

ヘッドバンドの製作



家から持ってきた牛乳パックでヘッドバンドを
製作します。



努力の成果が報われる瞬間です！



どうかな？ 聞こえるかな？

デコレーション



毛糸やシールやマジックを使って
デコレーションをします。
世界でたった一つだけのヘッドホンの完成です。

みんな頑張ったので、全員に修了証を授与して終了となりました。

